

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公開番号】特開2006-302915(P2006-302915A)

【公開日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-043

【出願番号】特願2006-215616(P2006-215616)

【国際特許分類】

H 05 B 6/12 (2006.01)

【F I】

H 05 B 6/12 3 1 7

H 05 B 6/12 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月30日(2006.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

誘導加熱調理器であって、

トッププレートと、

前記トッププレートの下方に配設された複数の加熱コイルと、

前記加熱コイルの下方に配設された天板と、

前記天板に配設された複数の開口と、

前記開口に気流を供給するファンとを備え、

前記開口は、前記加熱コイルごとに前記加熱コイルの下方に配設されたことを特徴とする誘導加熱調理器。

【請求項2】

前記開口は、前記開口から供給された気流が前記加熱コイルに衝突するよう構成されていることを特徴とする請求項1に記載の誘導加熱調理器。

【請求項3】

前記開口は、前記加熱コイルごとに複数あることを特徴とする請求項1に記載の誘導加熱調理器。

【請求項4】

配線基板と、

前記配線基板上に搭載された第1および第2の回路部品と、

前記第1の回路部品に固定されたヒートシンクと、

前記第1および第2の回路部品と前記ヒートシンクとを収容し、上部に前記天板を有するチャンバとを備え、

前記ファンは、前記チャンバに空気を供給して、前記チャンバ内に気流を形成し、

前記第2の回路部品は、前記第1の回路部品の気流下流側に配置されていることを特徴とする請求項1に記載の誘導加熱調理器。

【請求項5】

前記開口は、前記第2の回路部品の上方に配設されていることを特徴とする請求項4に記載の誘導加熱調理器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本願発明に係る誘導加熱調理器は、トッププレートと、前記トッププレートの下方に配設された複数の加熱コイルと、前記加熱コイルの下方に配設された天板と、前記天板に配設された複数の開口と、前記開口に気流を供給するファンとを備え、前記開口は、前記加熱コイルごとに前記加熱コイルの下方に配設されたものである。